



夏至の陽が沈みます。昼の時間が14時間半です。宇宙飛行士が、昼の地球を見て自然界の姿に驚く一方夜の地球は、ヒトの活動力に更に驚くとのこと。都市光の眩しさは怖ろしい程の資源浪費の姿でしょう。

鎮(しず) まりたまえ



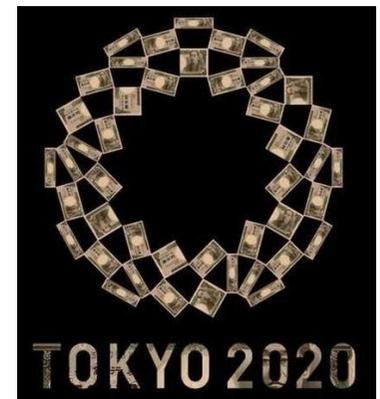
感染症への考え方は世界で差異があります。悪として根絶を目指すのではなく、共に生きるものとして捉える押谷仁さん(東北大学教授)は、疫学で打開策を提示されています。



東北では疫病も石碑として祀られています。私はアニメ「もののけ姫」の少年アシタカの言葉と、押谷さんの提言が表題のように重なりました。村を襲ったタタリ神(猪)の体内には銃弾が撃ち込まれており、怒りで荒れ狂う猪は、鎮まり給えの言葉も届かず、矢を放つしかありませんでした。呪いを右腕に受けたアシタカは、自らもタタリで化身するのを避けるため村を離れるのです。



物語は後半。自然深い森の中、生と死を司るシン神が居ました。不老不死を求める権力は、シン神を殺し首を狩るよう命じました。世の終わりの混乱の中で、アシタカ達は首を還します。タタリの瘧は全身へ広がるも「生きる」と新生の息吹が。



TOKYO 2020



オリンピックと感染

政治や経済のイベントであるとします。ハッキリしてききました。コロナウィルスは、ヒトの意図を超えた活動をしますから、科学的に感染を観察し、いかにして被害を少なくして生活するかの対応が基本です。専門家会議有志の予測を率直に受け入れ対処しても、このイベントは後悔しかもたらさない人災になると思えます。

「ペストの医師」の誠実を、思い出しつつ



ワクチンが全てを解決すると政策誘導するのは、不誠実です。ワクチン配送や接種さえも、右往左往しています。リウーは、カミュの小説の隔離された都市の医師、目前の難事から逃げませんでした。上記の漫画は2017年作。コロナ感染の前に想定できたことが描かれています。待ちながらも、すべきは誠実です。

休診のお願い

今年も半分過ぎました。この先も、一日一日を大切に。7月23日(金) 8月9日(月) 休診します。お盆も休診します。8月13日(金) 8月15日(日) 蒸し暑さには、ご用心ください。



自宅での人生を 最期まで支援します

〒516-0805 三重県伊勢市御薊町高向 927
電話 0596-20-8104
ファクス 0596-20-8105
メール homecare@kr.tcp-ip.or.jp
http://isezaitaku.com



→バックナンバー閲覧可